

当社は、「楽しさが広がる食の世界を創造し人々の豊かな生活に貢献すること」を企業理念とし、食の安心・安全・安定供給を通じて社会に貢献することを目指す。その上で、SDGs宣言を通し、持続可能な社会の実現を目指している。

その中で、当社が運営する最大級の物流拠点を開設し、既存の物流業務の集約化を図り、また最先端のマテハン設備を導入し、自動化・省人化を推進することで、ローコストかつ高品質な物流オペレーションを実現させることにより、付加価値額の創出と炭素生産性の向上を図る。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2023年12月～2026年 3月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を7.9%以上向上させる。

3. 前向きな取組みの内容

首都圏東物流センター（千葉県流山市）を開設し、既存の物流業務を集約すること、及び、最先端のマテハン設備を導入し、自動化に伴い、業務効率化が図られ、付加価値額を向上させ、目標年度に炭素生産性を7.9%向上させる

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組みの内容のイメージ>

三井食品のSDGs宣言

～私たちは約束します～

働きやすい会社
をつくれます

地球の未来、環境
を守ります

食の『安全・安心・安定』
を届けます

地域社会や取引先との共生
価値観の共有
柔軟な働き方
人材育成



食品廃棄の削減
食品リサイクルの促進
省エネ・省資源の取り組み
環境配慮型容器・資材の活用



品質管理とトレーサビリティ強化
物流品質・需給管理精度向上
サプライチェーンの生産性向上
BCP体制構築



<首都圏東物流センターの外観等>

